





こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。  
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のご願いは表面をご覧ください。

## 取り付けかた（つづき）

### 4. 排気用部品の準備

排気口をはずします。(図4-1)

1) 2ヶ所の蝶ナットおよびワッシャーをはずします。

#### お願い

はずした蝶ナット、ワッシャーは  
なくさないようご注意ください。

2) 排気口取付板のツメ(2ヶ所)  
から、排気口をスライドさせて  
はずします。

3) 付属品のソフトテープを排気口  
に貼り付けます。

#### ■側方排気・後方排気の場合

1) L形ダクト(別売品)に排気口取  
付板を取り付けます。

(図4-2)  
排気口取付板を付属品の低頭ね  
じ(M4×8)4本でL形ダクト(別  
売品)に取り付けます。  
※L形ダクトに付属の取付ねじ  
は使用しません。

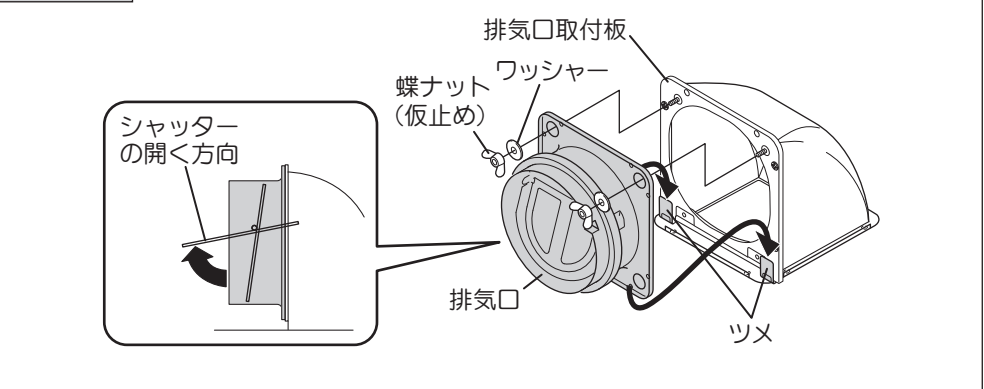
2) 排気口取付板に排気口を取り付け  
ます。(図4-3)

排気口取付板のツメに排気口を差し込み、ワッシャーおよび蝶ナット2個で仮止め  
します。  
取り付け方向は、シャッターの開閉方向が下方になり、レンジフードを運転してい  
ないときはシャッターが閉じるように取り付けます。

#### お願い

排気口を取り付ける際は、シャッターの開く向きに注意してください。  
誤った取り付けの場合、排気不良や異音の原因になります。

図4-3



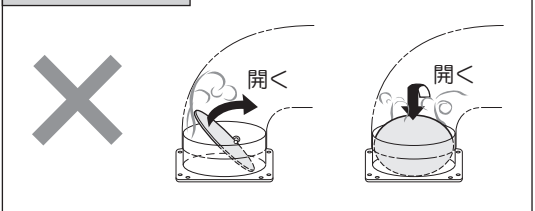
#### お願い

L形ダクトまたは回転式フレキシブルダクトを使用しないで、排気口に直接ダクト  
を接続して側方・後方排気する場合は、シャッターの開く向きに注意して排気口を  
取り付けてください。  
下図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異音の原因になります。

#### 正しい接続例



#### 誤った接続例



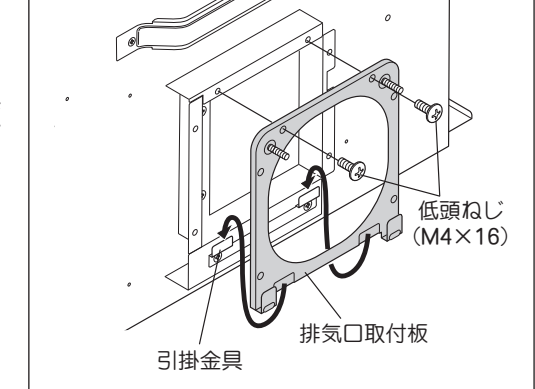
#### 排気口と本体の接続

##### ■上方排気の場合

1) 排気口取付板を取り付けます。  
(図4-4)

フードの排気口取付部にある引掛金具  
のツメに排気口取付板を差し込み、付  
属品の低頭ねじ(M4×16)2本で固  
定します。

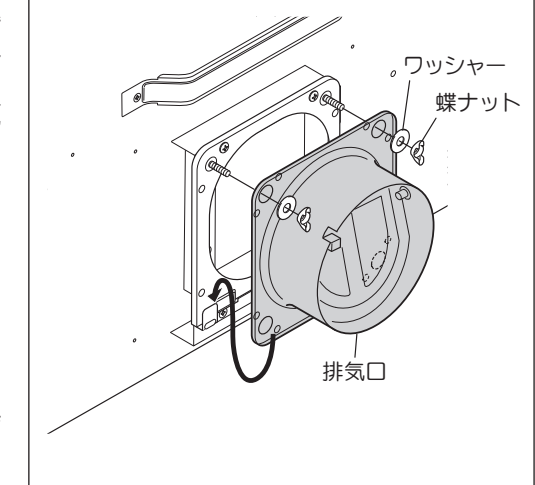
図4-4



2) 排気口を取り付けます。(図4-5)

排気口取付板のツメに排気口を差し込  
み、ワッシャーおよび蝶ナットで仮止  
めします。  
※排気口は取付位置から6mmの範  
囲で可動できます。  
ダクトを接続したあとに固定して  
ください。

図4-5



#### お願い

排気口を取り付ける際は、シャッター  
の開く向きに注意してください。  
誤った取り付けの場合、排気不良や異  
音の原因になります。

#### ■側方排気・後方排気の場合

本体を取り付けたあと「6.ダクトと排気用部品の接続」でおこないます。

### 5. レンジフードの取り付け

#### ⚠ 注意

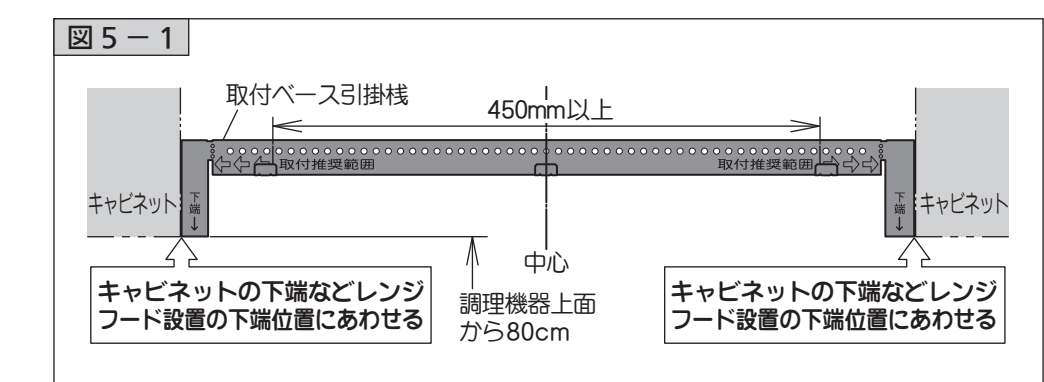
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところ  
を選んで確実におこなうこと  
落下によりけがをするおそれがあります

● 部品の取り付けは確実におこなうこと  
落下によりけがをするおそれがあります

● 設置の際、整流板を持たないこと  
必ずフード部を持って設置してください  
変形するおそれがあります

#### レンジフードの取り付け

1) レンジフードの取付位置を確認します。(図5-1)



2) 取付ベース引掛機を取り付けます。  
(図5-2)

1) 取付ベース引掛機を付属品の  
座付ねじ(φ5.1×45)2本で  
取付推奨範囲(刻印あり)に  
固定します。

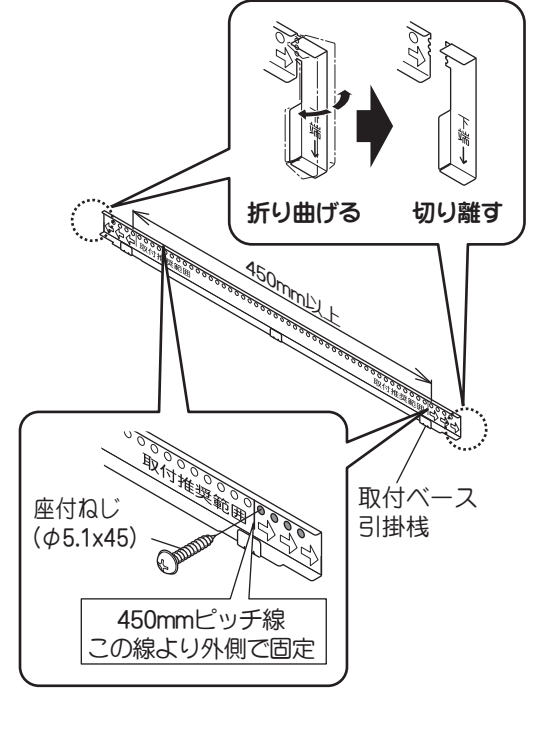
#### お願い

座付ねじ取り付け位置は  
450mm以上離し、取り付け  
面の補強部に確実に届く場所  
に固定してください。

※取付推奨範囲外での取り付  
けや壁面の強度などの影響  
でレンジフードが前ダレす  
る場合は、市販のねじで増  
し打ちしてください。

2) 取付ベース引掛機の両端を折  
り曲げて切り離します。

図5-2

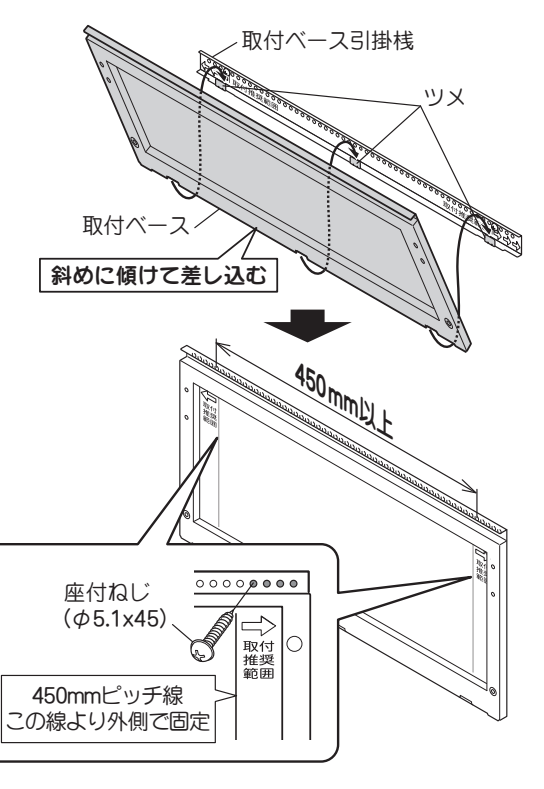


3) 取付ベースを取り付けます。

1) 取付ベースの角穴を取付  
ベース引掛機3ヶ所のツ  
メに引っ掛け、上側を付  
属品の座付ねじ(φ5.1×  
45)2本で取付推奨範囲  
(刻印あり)に固定します。  
(図5-3)

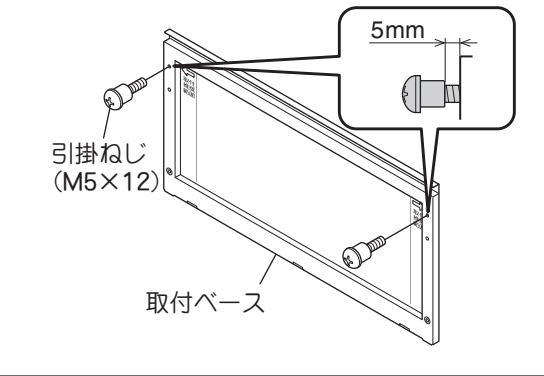
※取付推奨範囲外での取  
り付けや壁面の強度な  
どの影響でレンジフ  
ードが前ダレする場合は、  
市販のねじで増し打ち  
してください。

図5-3



2) 取付ベース上部に付属品の引  
掛ねじ(M5×12)2本をね  
じ込み、すきま5mmまで締  
め付けます。(図5-4)

図5-4



4) 本体を取付ベースに取り付けます。(図5-5)

1) 手順3の2)で取り付けた取付ベース上の引掛ねじ(M5×12)2本に  
本体のだるま穴を引っ掛けた後、しっかりと締め付けます。  
※取っ手は、本体を引っ掛ける際の持ち手として使用できます。

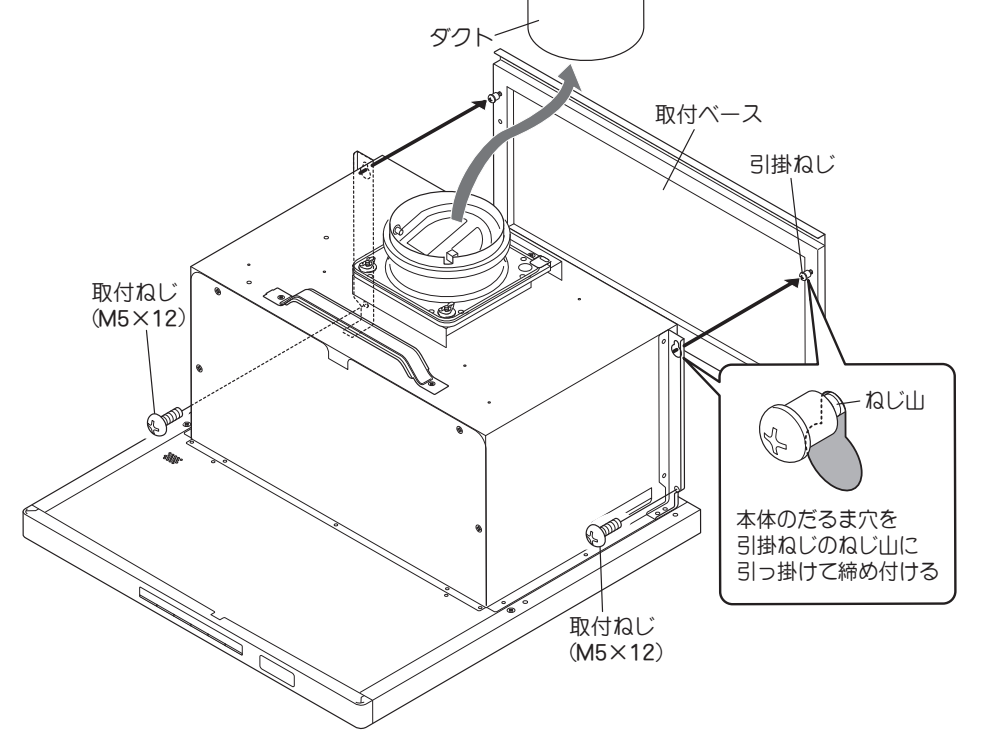
#### お願い

・必ず引掛ねじのねじ山に引っ掛けてください。  
・上方排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてくだ  
さい。

#### 600間口の場合

2) 左右のだるま穴下の丸穴に、付属品の取付ねじ(M5×12)2本をねじ込み、  
しっかりと固定します。

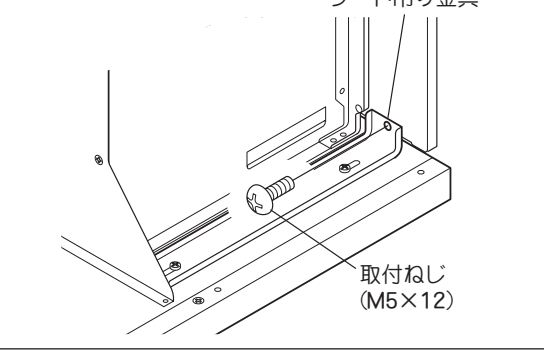
図5-5



#### 750および900間口の場合

3) 左右のフード吊り金具の  
丸穴に付属品の取付ねじ  
(M5×12)2本をねじ込  
み、しっかりと固定します。  
(図5-6)

図5-6

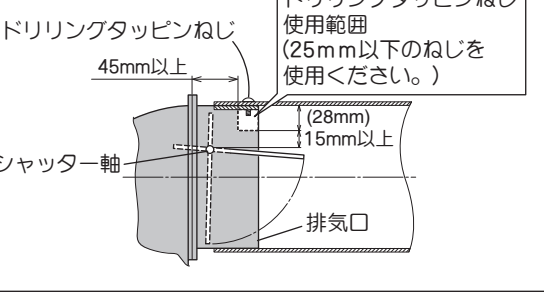


### 6. ダクトと排気用部品の接続

#### お願い

ドリリングタッピンねじなどで排気  
口を固定する場合は、シャッター  
にねじがあたらないように図を参照し  
てドリリングタッピンねじ使用範囲  
以内に固定してください。(図6-1)

図6-1

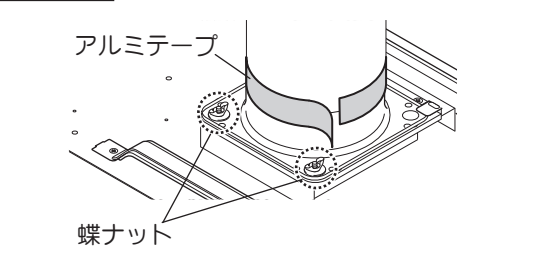


#### ■上方排気の場合(図6-2)

1) 排気口の蝶ナットをしっかりと  
固定します。

2) ダクトと排気口の接続部に風  
漏れ防止のテーピング(アル  
ミテープ)をおこないます。

図6-2



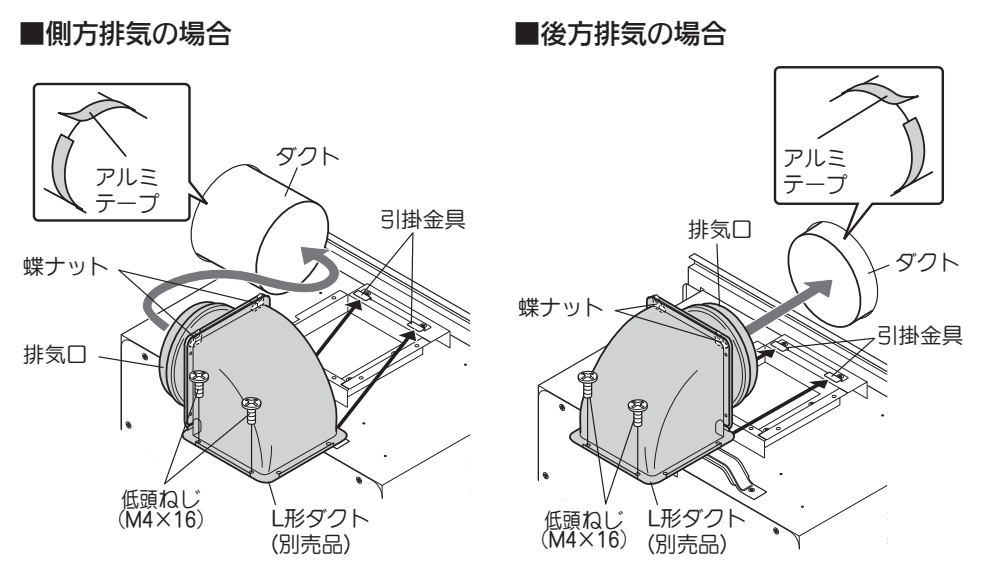
#### ■側方排気・後方排気の場合(図6-3)

1) 排気口をダクトに接続します。

1) L形ダクト(別売品)を排気口取付部にある引掛金具のツメに差し込みながら  
排気口をダクトに挿入し、付属品の低頭ねじ(M4×16)2本で固定します。

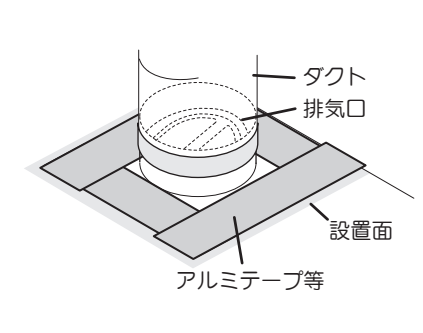
2) 排気口の蝶ナットをしっかりと固定します。

図6-3



■排気口設置面の漏風確認のお願い(図6-4)  
排気口とダクトを接続する際に、無理にダク  
トにレンジフードの排気口を接続しようとす  
ると、排気口と排気口の設置面(製品天面等)  
が変形し、風漏れが発生してしまう場合があ  
ります。  
風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運  
転(強運転)をおこなってください。  
漏風する場合は、排気口と設置面の周りをア  
ルミテープ等(現場調達品)で漏風防止処置  
をおこなってください。

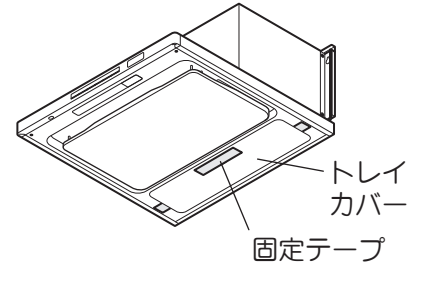
図6-4



### 7. トレイカバー固定テープおよび排水トレイ・給湯トレイ固定テープの取りはずし

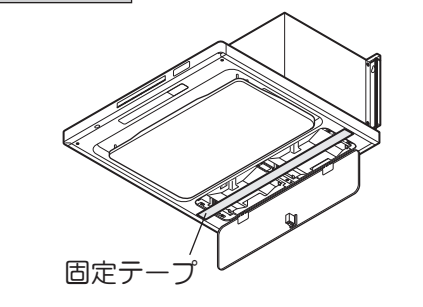
1) 保護用クッション材をいったん取りはずし、  
トレイカバーを固定しているテープをはが  
します。(図7-1)

図7-1



2) 付属の取扱説明書を参照してトレイカバ  
ーを開き、排水トレイ・給湯トレイを固定し  
ているテープをはがします。(図7-2)  
固定テープをはがしたあとはトレイカバ  
ーを閉めてください。  
※はがした固定テープは廃棄してくださ  
い。

図7-2



### 8. 電気配線

#### ⚠ 警告

##### 分解・修理・改造禁止

●修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります

##### 使用禁止

●交流100V以外では使用しないこと  
火災・感電の原因になります

##### 取付注意

●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が  
工事をおこなうこと  
誤った配線工事は感電や火災の原因になります

##### アースを取り付ける

●アースを確実に取り付けること  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります  
アースの取り付けは販売店にご相談ください

分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

#### お願い

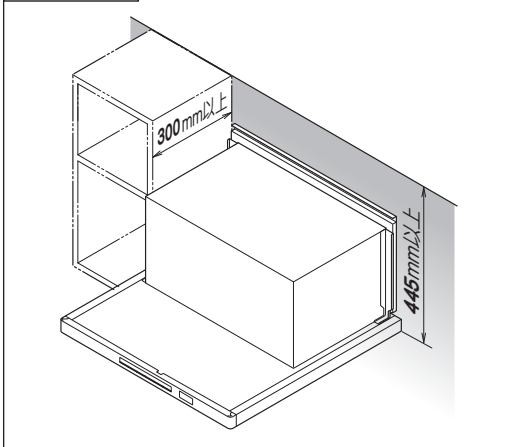
・電源は専用のコンセント(2極差込接続器15A、125V)およびブレーカーを  
設けてください。  
・「10.試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。  
・コンセントは電源コードの長さを考慮し、設置してください。  
・必ずアース(D種接地工事)をしてください。  
・レンジフードの配線工事の際、壁スイッチを設置しないでください。

### 9. 幕板の取り付け

■取り付け前の寸法確認(図9-1)

フード下面から天井までの高さが  
445mm以上、また壁からキャビ  
ネット本体までの奥行300mm以上ある  
かそれぞれ確認してください。

図9-1

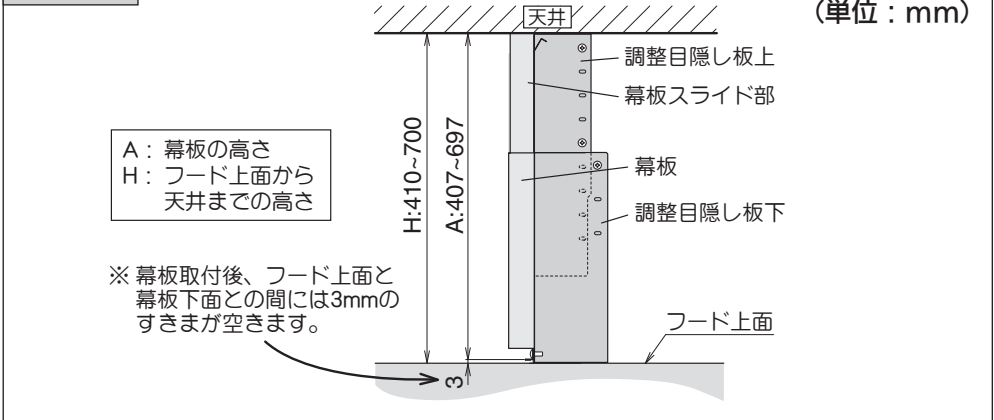


※奥行が300mm未満の場合は別  
売の横幕板をご使用ください。

#### ■幕板取付高さ範囲(図9-2)

次式により幕板の高さを算出し、幕板のスライド部を調節して高さを合わせます。  
A(幕板の高さ) = H(フード上面から天井までの高さ) - 3mm

図9-2



1) 保護シートをはがします。  
(図9-3)

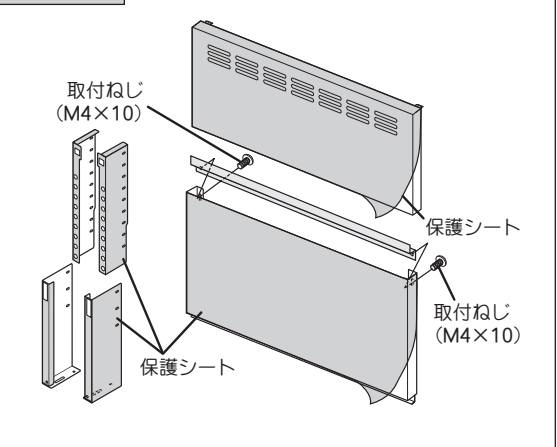
#### お願い

・保護シートをはがした後はキ  
ズが付きやすいので十分注  
意してください。  
・製品色により、ポリ袋の場合  
があります。

幕板および調整目隠し板上・下  
に保護シートがついている場合  
は、保護シートをはがします。

※幕板の保護シートをはがす際  
は、取付ねじ(M4×10)を  
はずし、幕板を上下に分割し  
てからはがしてください。

図9-3



2) スライド部を固定します。  
(図9-4)

※あらかじめ「幕板取付高さ範  
囲」(図9-2)を参照して  
幕板の高さ調整をおこなっ  
てください(幕板をキズつけない  
よう十分ご注意ください)。

1) 補強金具を幕板裏面に差し入  
れ、幕板の高さ調整穴付近ま  
で移動させます。

2) 補強金具を回転させ、幕板の  
調整穴と補強金具の固定穴を  
合わせ、取付ねじ(M4×  
10)2本で固定します。

3) 幕板スライド部の下端を付  
属品のアルミテープで幕板裏面  
より固定します。(図9-5)

図9-4

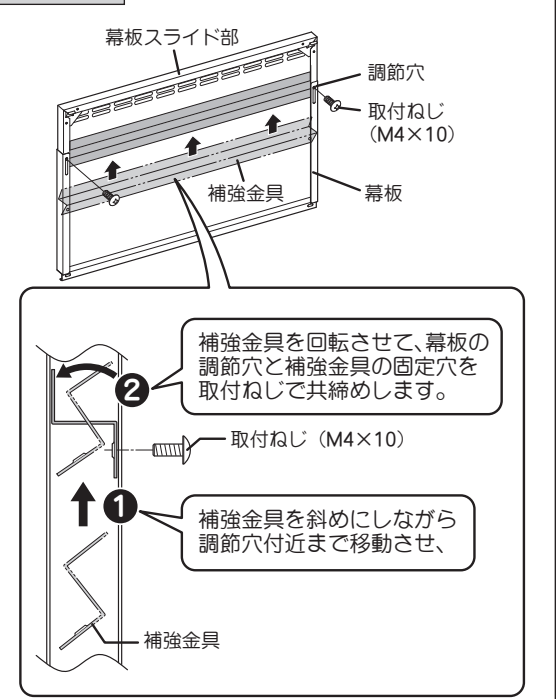
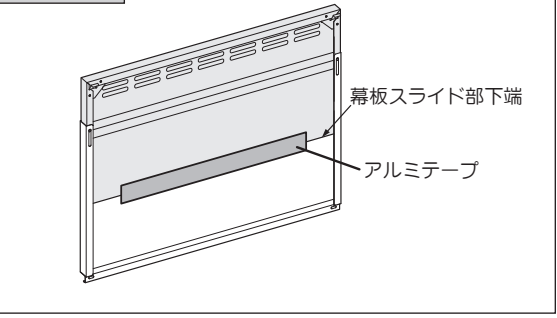


図9-5



3) 調整目隠し板下(左・右)  
を取り付けます。(図9-6)

#### お願い

調整目隠し板上・下を取り  
付ける際は左右を間違えな  
いようご注意ください。

1) フード左右の取付部にあ  
らかじめ取り付けられて  
いる段付ねじに調整目隠  
し板下の下部にある切り  
欠きを差し込み、前後に  
スライドさせて位置を合  
わせませう。

※差し込みがきつい場合  
は、段付ねじを若干ゆる  
めてから差し込んでくだ  
さい。

2) 調整目隠し板下とキャビ  
ネットを固定品の木ねじ  
(φ4.1×13)で固定し  
ます。

4) 調整目隠し板上(左・右)を取り付けます。(図9-7)

調整目隠し板上を調整目隠し板下に差し込み、天井に合うよう位置を調整して  
付属品の木ねじ(φ4.1×13)2本で固定します。

※付属品の木ねじ(φ4.1×13)2本は、うち1本を調整目隠し板上にある  
一番上の穴、もう1本を調整目隠し板下に最も近い穴に取り付けてください。

図9-6

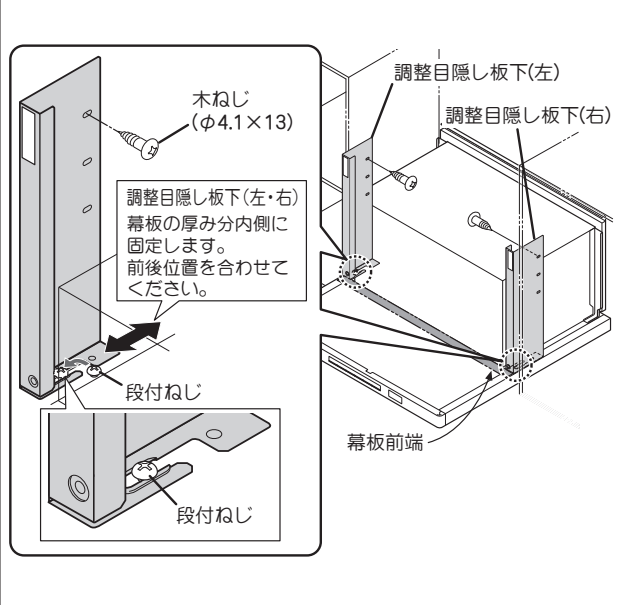
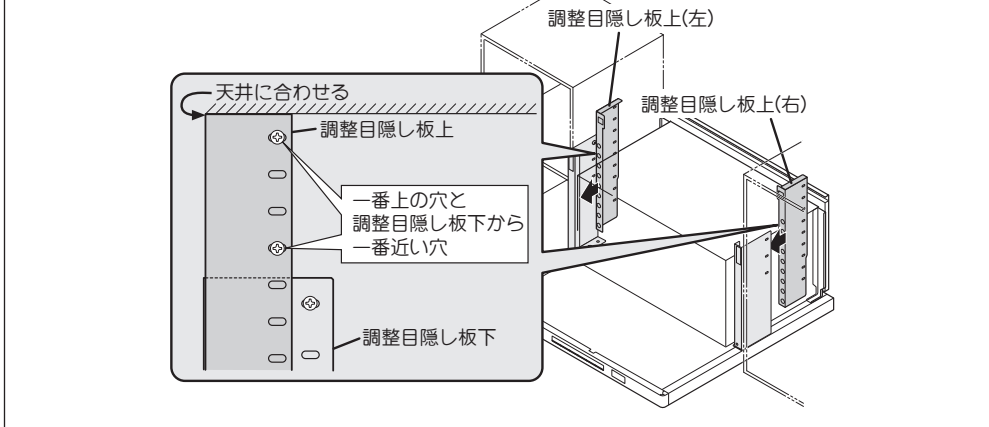


図9-7

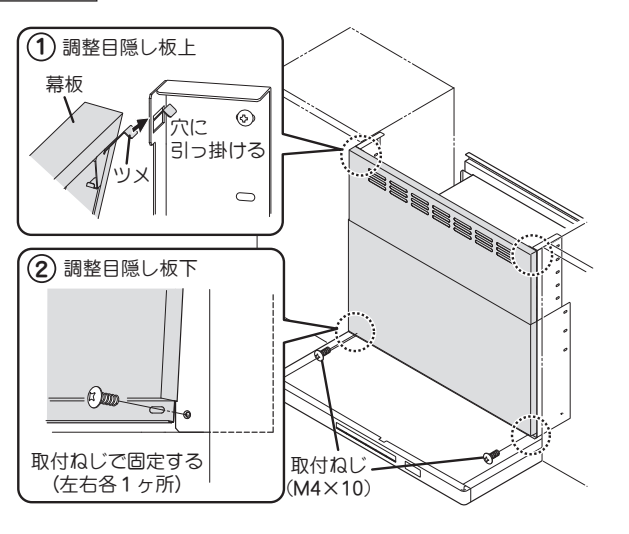


5) 幕板を取り付けます。  
(図9-8)

1) 幕板裏面上部にある  
左右のツメを調整目  
隠し板上の穴に引っ  
掛けます。

2) 幕板と調整目隠し板  
下のねじ穴を合わ  
せ、付属品の取付ね  
じ(M4×10)2本  
で固定します。

図9-8



### 10. 試運転

#### ⚠ 注意

##### 接触禁止

●運転中は、指や物を絶対に入れないこと  
けがをするおそれがあります

■分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。  
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。

■運転時、各連調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。  
※整流板を取りはずしている場合、自動運転停止機能が作動し、ファンは回りま  
せん。必ず整流板を取り付けて確認してください。

■異音、振動がないことを確認してください。

■屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。

■取り付けまたは各種工事に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となり  
ますので十分確認してください。

■製品保護のため、はずした保護用クッション材と固定テープをもとの状態に取り付  
けてください。

■風量おまかせ運転(風量自動切替)機能を正しくお使いいただくために、別紙に記  
載の方法で必ず環境設定をおこなってください。

■CO2検知用吸気口がふさがれていないか確認してください。

■取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。

■取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

### 11. お客様への説明

■取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。

■取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

### 販売店

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

お申し込み・お問い合わせ 0120-953-903 (通話料無料)

FAX 042-768-3383

ホームページ https://www.fujioh.shop

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土、日、祝日、夏期休暇、年末年始を除く)

### 製造元

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

お客様ご相談窓口 0120-071-686 (通話料無料)

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土、日、祝日、夏期休暇、年末年始を除く)